

> かなマグについて > お知らせ

アクションしている「ひと」を通して、神奈川の個性と魅力を発信します。

秦野市の地産素材を使った「はだのドーナツ」はいかが？ 新たに商品化、6月から販売開始予定

2012年5月20日
ライター：廣田 清

ED



「らっかせい」「いちご」「さくら」の3種類が楽しめる「はだのドーナツ」

ドーナツに生地にも用いられている小麦はもちろん、落花生やイチゴ、桜といったトッピングも秦野産だそうですよ。

開発したのは秦野市や商工会議所、菓子組合、農協などのメンバーから成る「はだのブランド推進協議会」の開発部会。昨年9月から試行錯誤を重ね、商品のコンセプトや使用素材はもちろん、ネーミングや価格などを話し合ってきたとのこと。お土産を想定して日持ちする焼きドーナツにし、食べやすいようスティックもついています。

価格は1個150円、3種類が1つずつ入ったパッケージは500円の予定。6月より秦野市内の貸店舗で販売開始するほか、5月26・27日に秦野市文化会館周辺で開催される「秦野市商工まつり」で先行しての販売も。

お土産やお茶請け、お子さんのおやつなどにも喜ばれそうですね。

高付加価値のあるブランド品の創出に取り組むはだのブランド推進協議会が地場食材を使った「はだのドーナツ」を開発。6月から販売を開始する。

ドーナツの開発に直接関わったのは、同協議会の中に昨年9月に設けられた開発部会。

メンバーには秦野商工会議所や菓子組合、工場協会、大型店連絡協議会、農協の代表者と、主婦・大学生など市民ら幅広い分野から10人が参加した。